

平成 28 年度第 1 回自動車整備技能登録試験〔実技試験〕

第 93 回〔三級自動車シヤシ〕

平成 29 年 1 月 15 日

31 問 題 用 紙

受験番号	受験地	回数	種類	番 号	氏名	※
		9 3	3 1			

※試験説明で指示された者のみ記入

【試験の注意事項】

1. 受験票又は受付番号票に記入してある受験番号及び氏名を、該当欄に思考席で記入しなさい。
2. 各問題の確認結果、測定結果及び解答は、問題用紙の該当欄に記入しなさい。ただし、思考席では記入しないこと。
3. 故障を設定している問題については、問題中に特段の指示がない限り、重複故障はないものとします。
4. 試験中、各部品は、台上で点検等を行って下さい。
5. 問題用紙の余白部分には、自由にメモすることができます。
6. 試験終了後、この問題用紙を回収します。

【不正行為等について】

1. 携帯電話等の電子通信機器類は、試験会場に入る前に必ず電源を切って、カバン等に入れておいて下さい。
2. 試験時間中(試験会場内)において、携帯電話等の電子通信機器類を使用した場合は、不正の行為があったものとみなし、試験を停止し、又は、その試験を無効とすることがあります。
3. 登録試験に関して不正の行為があったときは、当該不正行為に関係ある者について、その試験を停止し、又は、その試験を無効とすることがあります。

この場合において、その者について、3年以内の期間を定めて登録試験を受けさせないことがあります。

問題 1 台上にある回路ボード(車速センサおよびリレー回路)について、次の各問に答えなさい。

また、必要事項は、台上の留意事項に示してあります。

問 1 アナログ・サーキット・テスタを用いて、車速センサの2種類のパルス電圧を測定し、下表の該当欄に数値で記入しなさい。

なお、サーキット・テスタの一目盛が0.2Vであるため、測定値は0.2V未満を切り捨てて、0.2V単位で小数点以下第1位まで記入しなさい。

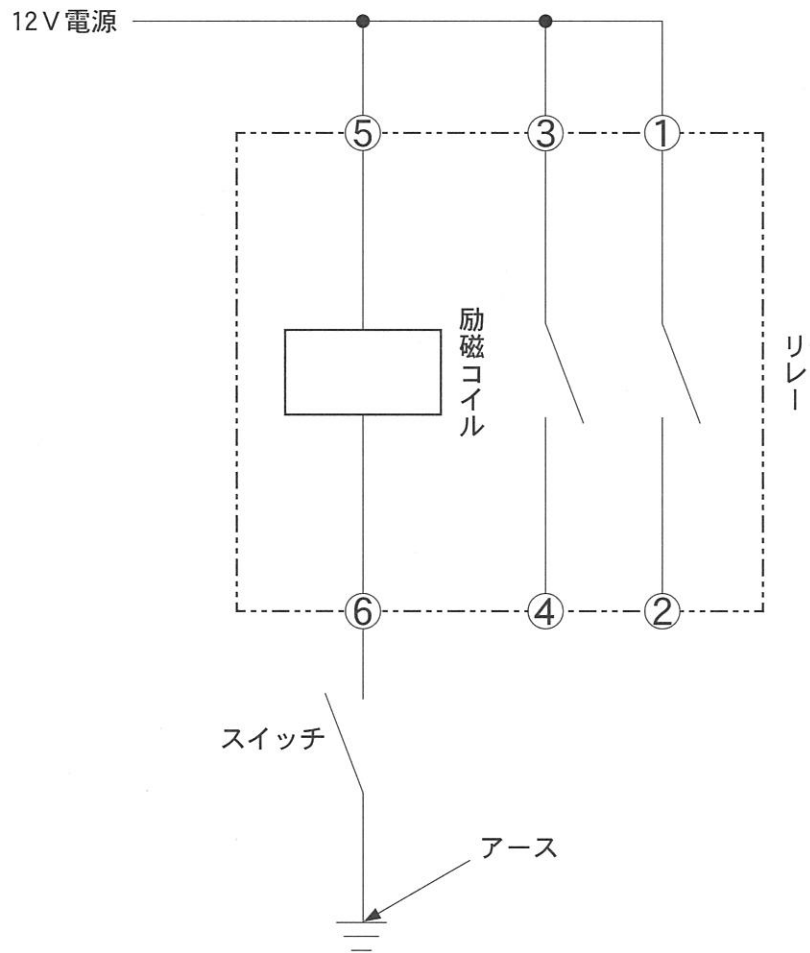
測定端子	測定項目	測定値
3-1間 (センサ信号1)	最小パルス電圧	V
	最大パルス電圧	V
4-1間 (センサ信号2)	最小パルス電圧	V
	最大パルス電圧	V

問 2 リレー回路において、スイッチを操作したときの端子間の電圧を測定し、測定値を下表の該当欄に小数点以下を切り捨てて記入しなさい。

次に、測定値について、留意事項の基準値からリレー回路の良否を判定し、該当欄の何れかを○印で囲みなさい。

測定端子	スイッチ	測定値	判定
2-アース間	OFF	V	良・否
	ON	V	
4-アース間	OFF	V	
	ON	V	
6-アース間	OFF	V	
	ON	V	

〈リレーの回路図〉



※リレーの励磁コイルに通電すると、接点が共に閉じる。

問題 2 台上にあるシフト・フォーク・シャフトについて、次の各問に答えなさい。

また、必要事項は、台上の留意事項に示してあります。

問 1 ダイヤル・ゲージを用いて、シフト・フォーク・シャフトの振れを測定し、測定値を下表の該当欄に記入しなさい。

次に、シフト・フォーク・シャフトの曲がりを求め、該当欄に記入しなさい。

なお、測定値及び計算値は小数点以下第2位(小数点以下第3位を切り捨て)まで記入しなさい。

測定項目	測定値又は計算値
振れ	mm
曲がり	mm

問 2 マイクロメータを用いて、シフト・フォーク・シャフトの外径を測定し、測定値を下表の該当欄に、小数点以下第2位(小数点以下第3位を切り捨て)まで記入しなさい。

測定項目	測定値
外径	mm

問題 3 台上にあるフロント・ブレーキのホイール・シリンダ(ライニングとドラムのすき間を手動で調整するタイプ)について、次の問に答えなさい。

また、必要事項は、台上の留意事項に示してあります。

問 ホイール・シリンダを分解し(組み付けてある部品をすべて分解図のとおりに取り外し)、ピストン外周及びボデー内面(シリンダ内面)の傷の有無を確認し、下表の該当欄の何れかを○印で囲みなさい。

次に、ピストン・カップ及びダスト・ブーツを交換して、指定箇所に給脂を行った後、正規に組み付けなさい。

確 認 項 目	傷 の 有 無
ピストン外周	有 ・ 無
ボデー(シリンダ内面)	有 ・ 無